

日本工学院専門学校		開講年度	2020年度(令和2年度)		科目名	基本情報対策講座2	
科目基礎情報							
開設学科	情報処理科		コース名	全コース共通		開設期	前期
対象年次	2年次		科目区分	選択		時間数	45時間
単位数	3単位		開講時間	月曜 1時限目～		授業形態	講義
教科書/教材	毎回資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。						
担当教員情報							
担当教員	山本 純士、清水 孝之、三島 秀三、藤本 海艶				実務経験の有無・職種	有・システムエンジニア	
学習目的							
基本情報技術者試験はIPAが主催する国家資格の一つであり、高度IT人材となるために必要な基本的知識・技能をもち、実践的な活用能力を身に付けたことを証明する資格です。基本情報技術者試験のテクノロジー分野(基礎理論、アルゴリズムとプログラミング、コンピュータ構成要素、システム構成要素、ソフトウェア、ハードウェア、ヒューマンインタフェース、マルチメディア、データベース、ネットワーク、セキュリティ、システム開発技術、ソフトウェア開発管理技術)、マネジメント分野(プロジェクトマネジメント、サービスマネジメント、システム監査)、ストラテジ分野(システム戦略、システム企画、経営戦略マネジメント、技術戦略マネジメント、ビジネスインダストリ、企業活動、法務)のうち過去に出題された問題を重点的に理解します。							
到達目標							
本資格には午前試験免除制度があり、本来一日で午前試験(150分)と午後試験(150分)を受験しなければならないところ、午後試験(150分)のみを合格することで基本情報技術者試験を合格とすることができます。本講義ではこの午前試験免除制度を合格できるよう対策を行っていきます。							
教育方法等							
授業概要	資格試験の対策として、過去問題の演習を通して、理解不足のテーマを洗い出し、理解を深めることが重要です。授業では、過去問演習を中心に行い、合格までに必要な基本知識と応用力を養成します。						
注意点	過去問演習では必ず自ら考えて解き、不正解だった問題や理解がややふやな問題については、放置せず、教科書に戻り該当箇所の理解を深めたり、教員に聞くなどしてください。また、授業時間以外に必ず復習し、理解の定着を図りましょう。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験	0%					
	課題	50%	過去問における取得点数の増減を基に評価する				
	レポート	0%					
	成果発表 (口頭・実技)	0%					
	平常点	50%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画(1回～15回) 1回(3)時間 ※45分を1時間とする							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	ガイダンス			基本情報技術者試験の午前免除資格の必要性、今後の進め方を理解できる			
2回	過去問演習と演習の解説(1)			過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる			
3回	過去問演習と演習の解説(2)			過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる			
4回	過去問演習と演習の解説(3)			過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる			
5回	過去問演習と演習の解説(4)			過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる			
6回	過去問演習と演習の解説(5)			過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる			
7回	過去問演習と演習の解説(6)			過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる			
8回	過去問演習と演習の解説(7)			過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる			
9回	過去問演習と演習の解説(8)			過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる			
10回	過去問演習と演習の解説(9)			過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる			
11回	過去問演習と演習の解説(10)			過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる			
12回	過去問演習と演習の解説(11)			過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる			
13回	過去問演習と演習の解説(12)			過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる			
14回	過去問演習と演習の解説(13)			過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる			
15回	過去問演習と演習の解説(14)			過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる			